

[発行所] 香川県東讃農業改良普及センター

〒769-2401 さぬき市津田町津田930-2(大川合同庁舎内) TEL:0879-42-0190 FAX:0879-42-0196

E-mail: tosannokai@pref.kagawa.lg.jp

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/tosannokai/>

環境にやさしい農業を目指した技術実証



ドローンによる遮光資材塗布



日射制御型自動灌水設備の導入



土壌還元消毒



マニュアル

東讃農業改良普及センターでは、国が策定した「みどりの食料システム戦略」に基づき、令和4年度から環境負荷低減や省力化に役立つ技術の実証に取り組んでいます。令和5年度でアスパラガス、パセリの実証が終了したことから、その成果をとりまとめ、マニュアルを作成しました。

実証の一例としてアスパラガスではドローンを活用したハウスへの遮光剤塗布や、日射制御型自動灌水設備の導入等について検討しました。遮光剤を塗布したハウスでは、遮光資材を年中展開しているハウスに比べ収量が増加しました。一方、塗布後の降雨により遮光剤の流亡が左右されること、作業前に周辺住宅・ほ場の持ち主に作業日について情報共有することに注意する必要があります。

パセリでは糖蜜吸着資材を利用した土壌還元消毒や、遮光資材と畝天部分への遮光剤塗布を併用した先マルチ栽培技術等について検討しました。土壌還元消毒では、土壌中のフザリウム菌やピシウム菌、センチュウ類を減少させることができました。消毒効果を高めるためには消毒開始後3日間は晴天が続くタイミングで実施することが重要です。また、消毒期間を20日以上確保すること、消毒前に灌水チューブ等で十分な灌水を行うことに注意する必要があります。

マニュアルをご希望の方は普及センターまでお問い合わせください。また、令和6年度は露地野菜(ブロッコリー、レタス)、ミニトマトについて実証を行う計画となっており、引き続き「環境にやさしい農業」に役立つ技術の実証を続けていきます。

ジャンボタニシ

田植後の対策

POINT
01

水管理

近年、暖冬によりジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)の越冬数が増加し、水稻苗の食害による被害が拡大しています。

被害を軽減するポイントは、「田面を均平にし、田植後3週間程度まで**浅水で管理**」し、ジャンボタニシの活動を抑えること、「被害が出る前に**早めに薬剤散布**」することなど、複数の防除手段を組み合わせると効果的です。

浅い土中や水路等で越冬し、乾燥に強く、寒さに弱い。気温が15~35℃になると活動(食害)が活発に。寿命は約3年。



水を張ると稲の株元でジャンボタニシが活動を開始



水が溜まりやすい田面の低い所が食害されやすく欠株が発生

濃いピンク色の数百個の卵



POINT
02

ジャンボタニシに効果のある主な薬剤

田植直後から被害が発生するので**早い時期(発生の多いほ場では、田植当日)**に、ジャンボタニシに効果のある**薬剤を散布**し、食害を防止しましょう。特に、初期の除草剤を散布するほ場では水を張るため、活動が活発になります。早めに薬剤散布をしましょう。

薬剤名	10a当たりの使用量	防除時期の目安 使用方法	使用時期と回数	効果
スクミノン	1~4kg	田植直後~田植3週間後 湛水状態で均一に散布	収穫60日前まで、2回以内 発生時、回数制限なし	食害防止、殺貝
ジャンボたにしくん	1~2kg			
スクミンベイト3	2~8kg			

令和6年春の

農作業安全確認運動

令和4年の農作業事故死者数は全国で238人となっており、機械作業によるものが64%(152人)を占めています。このうち65歳以上の高齢者の事故が86%(205人)でした。

特に5月と8月は事故発生件数が最も多い時期となるため、作業は余裕を持った計画とし、田植機の植え付け爪の詰まりやコンバインのわら詰まり時には、**必ずエンジンを止めてから除去**しましょう。

【ここをチェック】

点検整備・清掃時...



エンジン非停止

手こぎ作業時...



手袋・軍手 タオル・手ぬぐい

巻き込まれ事故に
注意!

巻き込まれ事故は、
点検整備・清掃時
と手こぎ作業時で
発生!

点検整備・清掃作業では、エンジンを停止しましょう。
手こぎ作業は、適切な服装で機体の内側に手を入れないようにしましょう。

出典：農林水産省HP(自脱コンバイン事故に関する安全対策のポイント)

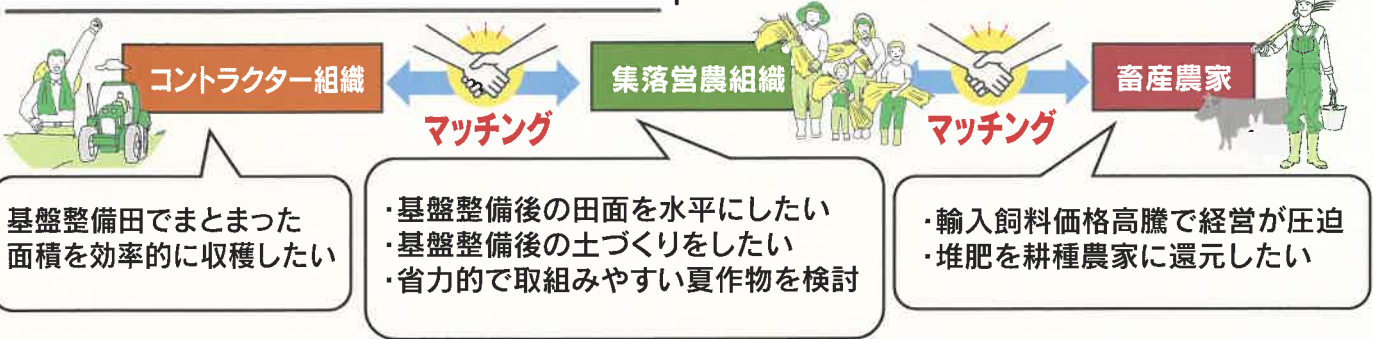


全国農作業安全確認運動
農林水産省

耕畜連携とは、耕種農家が家畜の餌となる飼料作物を生産し、畜産農家に供給するとともに、畜産農家から、耕種農家の土づくりに必要な堆肥を供給する「資源を循環させる取り組み」のことで、普及センターでは耕種農家と畜産農家のマッチングを行っています。令和5年度のマッチングの事例を紹介します。



① 基盤整備田におけるWCS用稲の導入事例



② 転作麦単作における飼料作物の導入事例



③ 主食用稲から飼料用米への転換(SGS)事例



WCS用稲や飼料用米(SGS)は、水田活用の直接支払交付金の条件である「5年に1度の水張り」に対応できます!

留意点

- ※ 耕種農家・畜産農家の双方にメリットが生じるよう、飼料価格や運搬等にかかる費用など連携を行う上で必要な情報をお互いに交換・合意することが重要です。
- ※ WCS用稲や飼料用米の農薬使用にあたっては、使用薬剤(除草・殺虫・殺菌剤)が限られていることがあります。

連携相手となる畜産農家に関する情報は下記までお問い合わせください。

集落営農・農畜産部門 二宮・田頭
TEL:(0879)-42-0190

紹介
青年農業士

農業士

青年農業士



大山 秀顕 様
(東かがわ市)
水稻、露地野菜・
施設野菜



長谷 真里 様
(さぬき市)
果樹・露地野菜



小路 憲一 様
(東かがわ市)
水稻、小麦、露地野菜

令和6年度、新しく香川県農業士・青年農業士の称号が付与される方々です。※認定式は5月23日、県庁にて

おめでとうございます

第60回香川県花き品評会

農林水産大臣賞

一般切花・
花木(立毛)ガーベラ 国村 佳弘 様 (高松市)

農林水産省農産局長賞

一般切花・
花木 ハナモモ 河野 清己 様 (高松市)

第87回香川県畜産共進会

農林水産大臣賞

乳用牛 桐本 正裕 様 (高松市)

肉用種牛 (株)多田牧場 様 (三木町)

肉牛 間島 真司 様 (さぬき市)

農林水産省畜産局長賞

肉用種牛 渡邊 隆司 様 (高松市)

東讃地域の農業と異業種の交流会

東讃農業改良普及センターと東讃農業改良普及協議会では、新たな販路を求め生産者・団体と利用者(事業者)が交流できる場を提供することでさらなる地産地消の取組みにつなげることを目的に「東讃地域の農業と異業種の交流会」を令和3年度から開催しており、今年も7月16日(火)にサンメッセ香川で開催します。

「こだわって生産した農畜産物をPRしたい」、「異業種の方と交流を深めたい」という東讃地域の農業者の参加を募集しています。

- ① 開催日時 令和6年7月16日(火)午後2時00分～4時00分
- ② 会場 サンメッセ香川 2階サンメッセホール(大会議室)
高松市林町2217-1
- ③ 対象者 東讃地域(高松市、さぬき市、東かがわ市、三木町、直島町)
在住の農業者・農業団体の方
- ④ 募集期間 令和6年4月30日(火)～令和6年5月24日(金)
- ⑤ 参加申し込み 香川県電子申請・届出サービスによりお申し込みください。
2次元バーコードまたはURLから登録した上でお申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-kagawa-u/offer/offerList_detail?tempSeq=5943

参加者募集!

詳しくは
同封のチラシを
ご覧ください



友たち追加

東讃農業改良普及センター LINE 公式アカウント



東讃農業改良普及センター ホームページ

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/tosannokai/>

